

一般質問に 6人が登壇

3月定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(6月初旬掲載)

伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
永末厚二(P8)	1、栄3から6丁目地区西側、用水路沿い道路(町道4156号線地)について 2、栄地区排水路調査の結果について 3、伊奈町情報化基本計画について
佐藤弘一(P9)	1、財源確保について 2、高齢者問題について
水上邦雄(P9)	1、雇用安定化対策と新たな雇用の創出を 2、非正規雇用労働者の待遇改善を 3、介護保険制度の充実を 4、妊婦無料健診の拡充を
村山正弘(P10)	1、高齢者に優しいまちづくり 2、中部区画整理地内の交通信号機整備
平田義雄(P10)	1、定額給付金事業への取り組み内容について 2、町内中小企業の景気状況及び離職者の生活支援対策について
大沢 淳(P11)	1、伊奈町の将来像 2、伊奈特定土地区画整理事業(北部区画)完了に向けて 3、学校給食の充実と食の安心安全 4、放課後子どもプランの具体化に向けて

栄3丁目境からの県道伊奈中央線新設工事が着工、開通すれば農免道から連続する町道が危険になる、対策は

当該道路は主要幹線の計画道路、
県道開通に伴う当面の対策と計画
線の実現に向け検討して行く



ながすえこうじ
永末厚二 議員

問 22年度末一部開通の
新たな県道伊奈中央線

は、利便性の裏に当該通
過地域への危険箇所に対

策が必要である。

信号設置、歩道確保、
通学路等、開通の問題点
とその対応は。また将来
の当該道路の位置付け
は。

答 東農免道に続く町道
は、平成22年を目標年次
とした町都市計画道路網
構想策定調査の中で、将
来の道路網、地区幹線道
路として位置づけされて
いる。

いな穂街道の全線改修
及び県道伊奈中央線が開
通した場合には、用水に

沿った町道が迂回路とし
て、通り抜け車両の通過
が増大する。対策の必要
性は認識している。

栄地区排水路調査の
結果と今後は

問 今年度予算に計上さ
れた、栄地区排水路調査
の結果は、今後にどう生
かされ、12月に採択した
請願事項との関係は。

答 昨今の地球温暖化等
の異常気象によるゲリラ
豪雨等の環境変化に伴
い、栄地区3箇所雨水

滞留箇所の再調査を実施

した。調査
結果は、ま
だ報告され
ていない。

調査結果
により効果
的な方策が
あれば実施
したい。ま
た、今年度
予算で、流
域貯留浸透
施設調査や
排水路整備
測量調査等

も合わせて実施する。



県道伊奈中央線第一期工事現場

財源確保・タバコ税収入をピーアールすべきだ

町単独での啓発活動は実施してない



さとこういち 佐藤弘一 議員

問 町財源確保のため、喫煙の方にたばこを町内で購入すれば「たばこ税が町内に入る」ことを理



たばこは地元で買しましょう

解し、協力をお願いすべ

きた。

答 当町のたばこ税収入は、平成16年度以降、毎年2億円以上収入されており、徴収コストがかからず安定的に確保できる財源となっている。町単独での啓発活動は実施していない。情勢を見極めて慎重に対応する。

問 役場の中央駐車場に車止めがないのはなぜか。

答 マラソン大会や、他の行事に使用のため、安全に使えるようにしている。

問 高齢者、また独居生活者の見守りはどのようになっているか。

答 社会福祉協議会、及び地域包括支援センターと連携して、訪問等また安否確認など、民生委員による「声かけ」電話確認などを行なっている。今後も高齢者世帯の増加が見込まれるので高齢者の見守り活動の充実を図っていく。

妊婦無料健診と助産所での健診の拡大を

14回無料、助産所でも



みずかみにお 水上邦雄 議員

景気対策を

問 町内企業の実態把握と雇用確保の要請を。

答 各種団体と話しいい実態把握に努めている。

問 融資・貸付制度の弾

力の運用を。

答 緊急融資制度・離職者支援・就学支援・修学資金貸付制度の周知に努めていく。

問 四季彩館に加工所の併設を。

答 設置方向が決まれば支援していく。

問 公共事業の早期発注早期支払いを。

答 手続きの迅速化に努めていく。

労働者の待遇改善を

問 臨時職員の正職員化を。

答 職員募集に応募することを期待する。

問 高齢者事業団会員の配分金(労働報酬)の引き上げを。

答 4月1日より基準単価を引き上げる。

介護保険制度の充実を

問 基金を取り崩し、基準額の引き下げと多段階化を。

答 年1,100円の減額と7段階8区分とする。

問 保険料の減免制度を。

答 利用料に比べ第1、2段階高くないと考える。

問 利用しやすい制度を。

答 用具購入・住宅改修費用、償還払いをなくし利用しやすいとする。

問 介護施設の新設と雇用の創出を。

答 事業者が進出に躊躇する傾向がある。

問 利用者にあつた介護度の認定を。

答 それぞれの状況に配慮した認定に努めていく。

介護施設



水道庁舎交差点に歩行者用信号を設置すべきだ

県公安委員会・上尾警察に申請し設置に努力する



むらやままさひろ
村山正弘 議員

問 中部区画整理が完成に近づき県道と町道のつげかえにより、事故多発交差点や改善の必要な交差点が生じている。

水道庁舎交差点は多くの児童が登下校に通る。保護者から歩行者用信号の設置を強くのぞまれている。



歩行者用信号の設置が望まれる水道庁舎交差点

しまむら付近の交差点と森田電気付近の交差点の信号設置はどうか。

答 については設置に努力する。

については森田電気付近の交差点は一灯式信号が近く設置される。

しまむら付近の交差点は車両通行量が少ないので設置はむずかしい。

高齢者に優しいまちづくり

問 75才以上の高齢者のみ所帯が今後増大するの
で、安否確認や孤独死防止を行政サービスに加えて施策を検討すべきだ。

答 社協・地域包括支援センター・民生委員・福祉協力員・赤十字奉仕団などにより広く見守り活動を実施している。

問 各会の連絡や情報交換などを含め高齢世帯の調査をし緊急電話の設置拡大など施策とすべきだ。

答 情報の一元化や緊急通報の体制づくりをする。

定額給付金事務作業、開始から終了までの諸経費は

経費100%国の負担(基本) 町も一部負担を予算計上



ひらたよしお
平田義雄 議員

問 定額給付金受給対象世帯にむけての、事務作業開始から終了までの諸経費の見込額を質す。

答 3月定例議会承認の予算は、職員、臨時3名人材派遣3名等で約3ヶ月間で時間外労働賃金支出



定額給付金の案内

出、雇用等で約680万円を計上している。

問 給付金事業での諸経費は全て国の負担と聞くが町の負担もあるのか。

答 国の補助率(金)は100%だが、町民の方への速やかな給付に向け、国の概算基準との差額が生じる事を考え自主財源224万円を計上したが、可能限り補助額内での予算執行に努めたい。

問 町民受給日の見込みを質す。

答 申請書の送付、返信受領後の給付作業、金融機関からの振込みなどで約30日を要する。

町の中小企業支援策は

問 町内中小企業者と職者の支援策についてを質す。

答 中小零細企業の経営環境は厳しく、町は企業の資金繰りに、低利、有利な金融制度の活用を、離職者等の求職相談にはハローワーク等の窓口紹介に努めている。

各会派による政務調査報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。



3会派 甘楽町視察

遊休農地の解消に向けての他方面の取り組み

- ・菜の花栽培で「観光」と「油の販売」
- ・牛の放牧で耕作放棄地の解消

視察地 群馬県甘楽郡甘楽町・埼玉県本庄市

期日 平成21年2月17日、18日

会派 伊新の会、公明党、民主党3会派合同

甘楽町
農業を取り巻く状況は、米価、農産物価格の低迷と高齢化による担い手不足により厳しい局面となっております。さらに耕作放棄地、遊休農地の課題への取り組みが求められております。この取り組みとして、群馬県甘楽町で、会員組織による活動が注目されています。

会が遊休農地の提供をうけ、菜の花を栽培、景観を観光目的に、その後種から「菜たね油」等を商品化し販売する。使用後の廃食油は回収し、バイオディーゼル燃料に加工し、農耕機、公共車の燃料に、暖房用等の利用をはかる。この活動により資源循環型社会の形成を目指す。以上が甘楽町の取り組み内容です。

3会派は、当町での取り組みの参考にと視察研修を行ってきました。視察研修調査での受けた問題は、県、町による財政支援、事業へのポ
ランティア参加者の広がりや点在する遊休農地の集約化の必要性等が大きな取り組み課題といえます。

本庄市
本庄市農業委員会は耕作放棄地の雑草刈りと、牛3頭を雑草地に放牧、牛が草を喰べて一定の成果を上げている。この取り組みは、県の初のモデル事業であり、当町における雑草対策を求め参考にと視察しました。

市制への移行を目指すのか

市と同等の活力あるまちを目指す



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

北部区画整理終了、県からの引き継ぎに向けて

問 道路など公共施設の修繕を。

答 道路は、すべて確認し修繕を依頼した。
問 交通信号機や交通標識の設置を。
答 県警本部が町内全域の交通規制見直しを行う。
問 新しい町名・地番の変更は。
答 町民の方々からの提案を受け、「西小針」「内宿台」「学園」の3つが選定された。今年6月の議会で議案を提出したい。

学校給食の充実と食の安心・安全

問 汚染米や農薬混入食品、偽装表示等への対応にどう取り組むか。
答 製造業者等へ食品の成分分析表や検査報告書を求めている。
問 JAS法や食品衛生法で産地証明等の表示が義務付けられている。
問 物価高騰によって子ども・保護者に負担をかける対策を。

答 学校給食の運営は厳しいが、食材の検討や献

立の工夫・改善を図り対応したい。



給食センター